

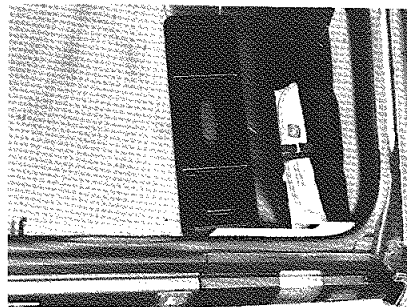
車の簡単な手入れと処置

工具とジャッキ

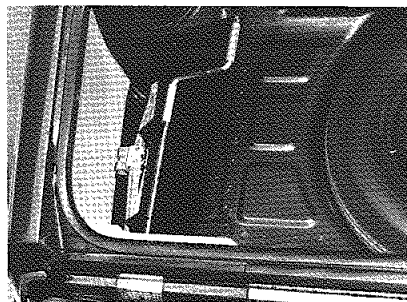
格納位置

セダン車

〈工具〉



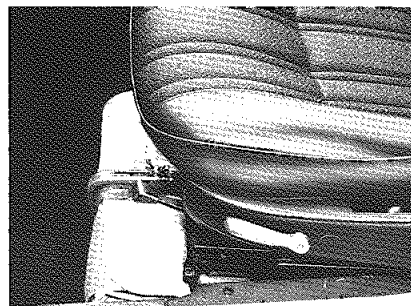
〈ジャッキ〉



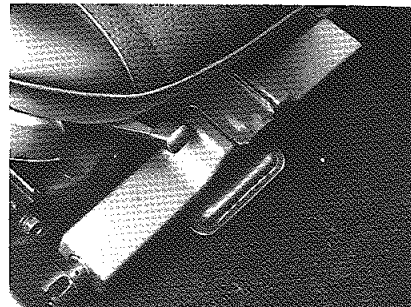
ジャッキとハンドルは、トランク左側のカバーの下に格納されています。

ワゴン車

〈工具〉

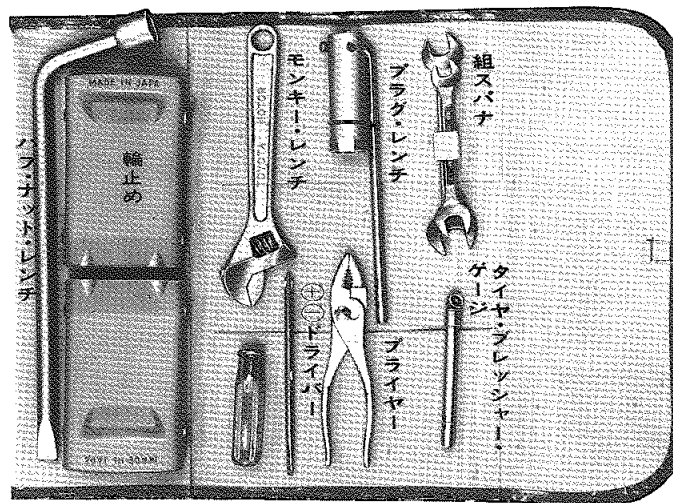


〈ジャッキ〉



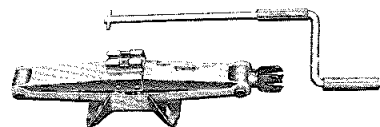
ジャッキとハンドルは運転手席、工具は助手席側の足元に格納されています。

〈工具〉

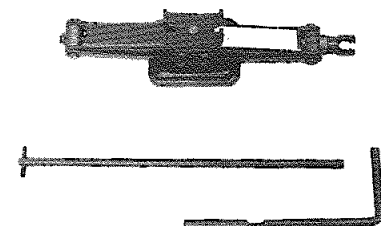


〈ジャッキ〉

セダン車



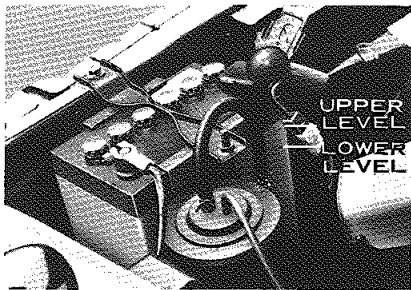
ワゴン車



バッテリー液の補給

バッテリーの中の電解液は使っているうちに蒸発して減ります。

バッテリー・ケースは半透明になっていますので液量は外から点検できます。液面がUPPER LEVELとLOWER LEVELの間にあればよく、少ないときは蒸留水を補給してください。



冷却水の交換

必ずロング・ライフ・クーラントをご使用ください。

キャッスル・ロング・ライフ・クーラントは、冷却水と不凍液とを兼ねています。四季を通じて使用でき、通常は2年で交換してください。交換する場合は次の要領で実施してください。

冷却水の交換

- 1 エンジン・ドレーン・コック、ラジエーター・ドレーン・コックをはずし、冷却水を全部出します。
- 2 水道の水でラジエーター内を洗浄しエンジン・ドレーン・コックとラジエーター・ドレーン・コックを取り付けます。
- 3 ロング・ライフ・クーラントの注入量は、下記の表を参照してください。

凍結防止温度	-15℃まで	-38℃まで	
ロング・ライフ・クーラントの濃度	30%	50%	
参考	冷却水量	18R-U	8.0ℓ
		M-U	11.0ℓ
		M-EU	

★注意

新車および冷却水交換後、エンジン内に空気が残りしばらくは冷却水の減少が見られますが異常ではありません。

冷却水の補給

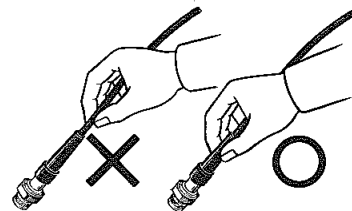
冷却水を補給する場合はロング・ライフ・クーラントの30%液または50%液を補給してください。

★注意

1. 新車時および冷却水交換時、エンジン内に空気が残りしばらく冷却水の減少が見られますが異常ではありません。
2. 補給はリザーブ・タンクに行なってください。LOWとFULLのレベルの間に保ってください。FULL以上は入れないでください。

プラグ・コードおよびスパーク・プラグの取り扱い

- 1 プラグ・コードを取りはずす場合は、キャップ部を持って取りはずしてください。



★注意

コードの中間を持って引っぱると断線のおそれがあります。

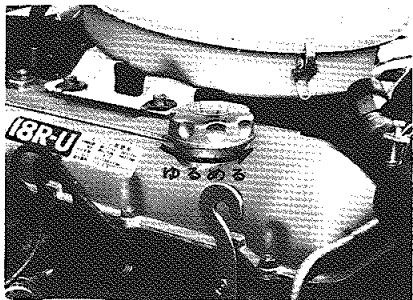
- 2 スパーク・プラグを交換する場合は、指定のものをご使用ください。

(48頁参照)

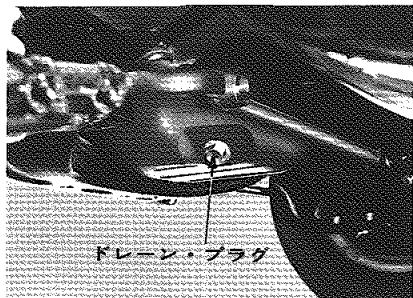
エンジン・オイルの交換

新車時第1回目の交換は3か月または、5,000km時、2回目からは6か月または、5,000kmごとに交換してください。

- 1 フィラー・キャップを取るか、エンジン・オイル・レベル・ゲージを抜きます。



- 2 エンジンのドレーン・プラグをはずしてオイルを出します。



- 3 エンジンのドレーン・プラグを取り付け、オイルを注入します。

オイルはトヨタ純正キャッスル製品をご使用ください。

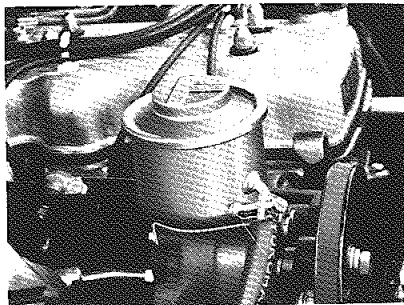
キャッスル・モーター・オイル(SD)SAE30
キャッスル・モーター・オイル・クリーン・スーパー(SD)20W-40

API基準, S C, S D相当シングル・グレード・オイルまたは、20W-40

パワー・ステアリング・フルードの点検

LG車標準

LA, L, LX, ワゴンL車オプション



パワー・ステアリングのオイル量を5,000km走行程度ごとにお調べください。

オイル・タンクはポンプの上側になっています。キャップを左に回して取り、キャップ・ゲージの目盛内にあるか確認します。

パワー・ステアリングのオイルには、必ずキャッスル・パワー・ステアリング・フルードをお使いください。

パンクの処置

■パンクの処置

車を道路の左端に寄せて

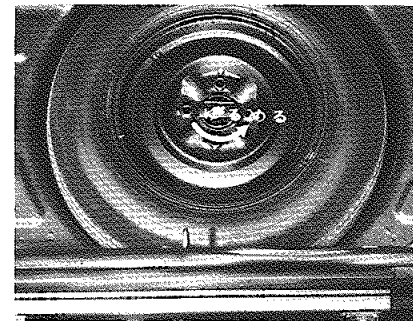
★注意★

車を水平な位置にとめます。

- 1 工具、ジャッキ、スペア・タイヤをとり出します。

■セダン車

スペア・タイヤは蝶ネジを左に回して取り出します。

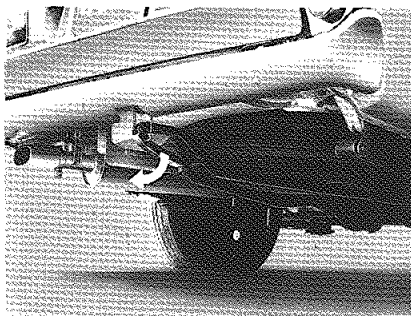


■ワゴン車

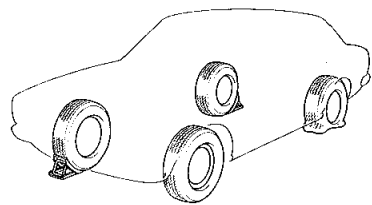
ハンドルを起こしてフックからレバーをはずします。

スペア・タイヤ・キャリアをそっとおろし、スペア・タイヤを取り出します。

盗難防止のため、錠前などで施錠することもできます。



3 輪止めをします。



左側パンク時……右側前後のタイヤの外側に

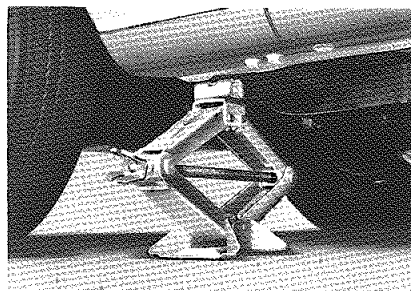
右側パンク時……左側前後のタイヤの外側に

4 ジャッキがはずれたときの危険防止のため、スペア・タイヤをパンクしたタイヤのポデーの下に置きます。

5 ホイール・キャップをドライバーではずします。直接ホイール・キャップに指をかけて引くことは危険です。

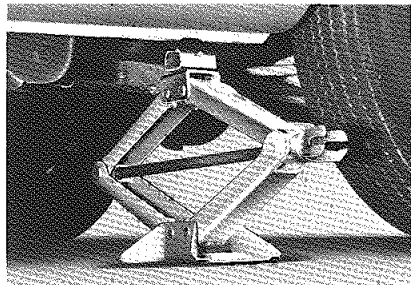
6 ジャッキをセッします。交換する車輪に近いサイド・レールの切りかき部にジャッキの受けをはめます。

フロント側

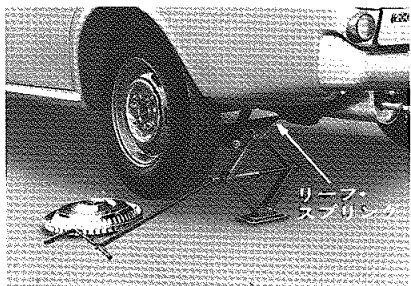


リヤ側

セダン車



ワゴン車



リーフ・スプリングにジャッキの受けをセッします。

★注意

ジャッキは地面の平らで安定できる所にセッしてください。

7 ハブ・ナットをハブ・ナット・レンチでゆるめます。ナットは手で回る位までゆるめておきます。

8 タイヤと地面とが少し離れるまでジャッキ・アップします。

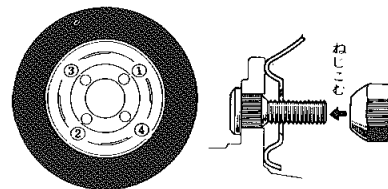
★注意

ジャッキ・アップしてからは車の下にもぐらないようにしてください。

万一、ジャッキがはずれると大変危険です。

9 ナットをはずしタイヤを取り替えます。

10 ナットのテーパ部がホイール穴のシート部に軽くあたり、タイヤがガタつかない程度までナットを締めます。



11 ジャッキをはずしナットは図の数字の順序で2～3度にわたりハブ・ナット・レンチを使用して、手でいっぱい締め付けます。

★注意

レンチを足で踏んだりパイプなどを使用して、必要以上に締め付けしないでください。

12 タイヤの空気口にキャップの穴を合わせホイール・キャップを取り付けます。

13 工具ジャッキを片づけパンクしたタイヤは、すぐ修理しておきましょう。

14 パンクしたタイヤを積みましょう。スペア・タイヤの空気圧は規定空気圧より少し高めにしておきましょう。

★注意

チューブレス・タイヤのパンク修理は、チューブ入りタイヤと修理方法がちがいますので確実に修理のできる工場で行なってください。

タイヤ・チェーン

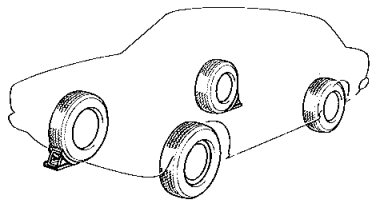
タイヤ・チェーンは後2輪に取り付けます。

★注意

車を水平な位置にとめます。

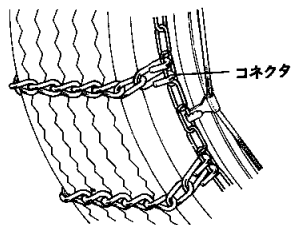
〈取り付け方〉

- 1 輪止めをします。
左側チェーン取り付け時…右側前後のタイヤの外側に
右側チェーン取り付け時…左側前後のタイヤの外側に

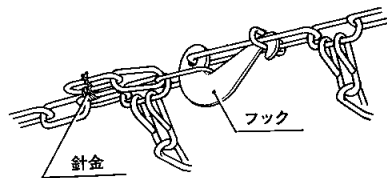


- 2 後輪をジャッキ・アップします。
(ジャッキ・セットのしかたはパンクの処置の項参照)

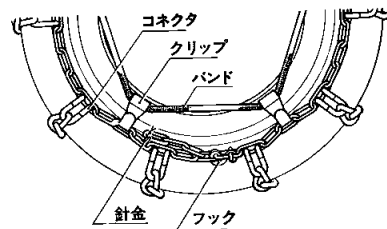
- 3 コネクタの折り曲げを外にしてタイヤを回しながらチェーンをかぶせます。



- 4 チェーンの両端をいっぱい引っばって内側から連結します。余ったチェーンは(ボデーに当るのを防止するために)図のように針金で結びます。



- 5 チェーン・バンドはクリップの爪を外向きにし、チェーンに掛けます。



- 6 ジャッキをおろし輪止めを、はずします。

〈取りはずし方〉

- 1 チェーン・バンドをはずし、針金をとり、フックは内側から先にはずします。
- 2 車を少し動かし、チェーンをとりだします。

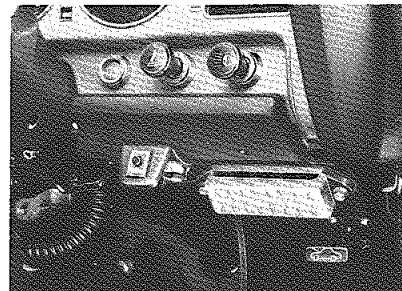
★注意

1. タイヤ・チェーンは、車のタイヤ・サイズに合ったものを使用してください。
2. タイヤ・チェーンを装着して走行する場合は、次の速度で走行してください。

雪路、凍結路……………30km/h以下
普通路……………50km/h以下

ヒューズ、ランプの交換

〈故障の調べ方〉



運転席右足もとのヒューズ・ボックスのふたにヒューズ容量と主回路名が記入してあります。そのヒューズの受けもっている配線全部が作動しないときはヒューズ切れと考えられます。

1つだけ作動しないときは、ランプ切れかまたは配線に不具合があります。

〈ヒューズの交換〉

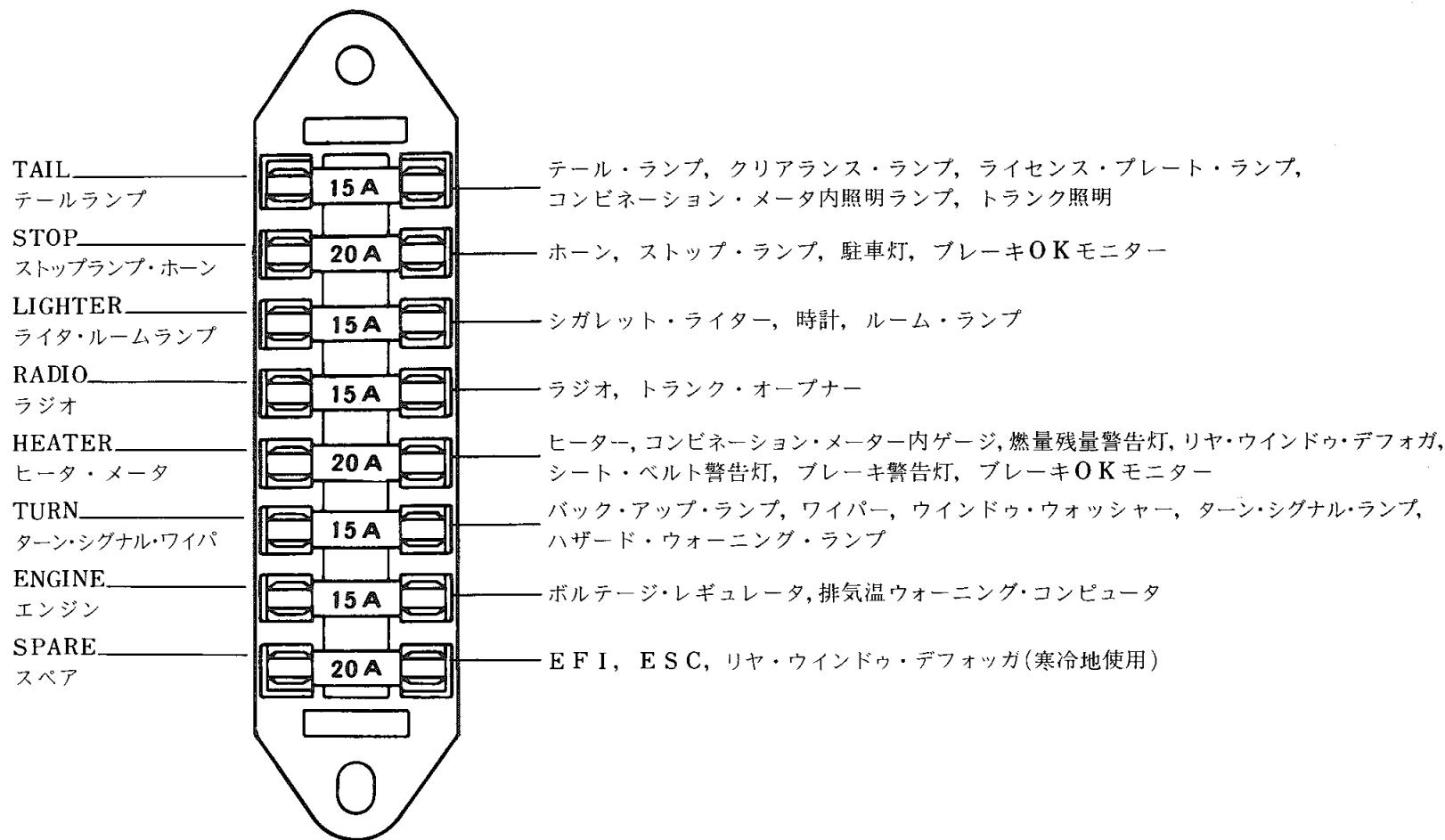
1. ヒューズ・ボックスのふたを取ります。
2. ヒューズをはずします。
3. 切れたものと同容量のヒューズと交換します。

何度もヒューズが切れる場合は、針金、銀紙等を使用しないで、サービス工場で点検を受けてください。

★注意

ヒューズの代りに針金、銀紙等は絶対に使用しないでください。

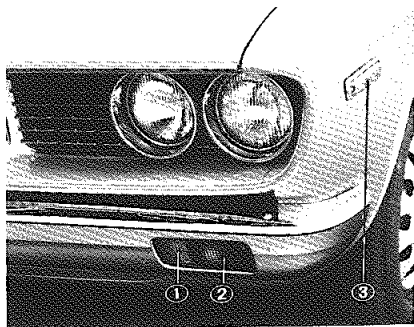
■ ヒューズ配線図



※ 1. 不具合のある個所は点灯または作動しません。

2. スペア・ヒューズはケース・カバーに (スペア・ヒューズ15A, 20Aが各1本) があります。

■ランプの交換
フロント側



- ①クリアランス・ランプ&
フロント・パーキング・ランプ
7/3.4w
- ②フロント・ターン・シグナル・ランプ
&ハザード・ウォーニング・ランプ
23w
- ③サイド・ターン・シグナル・ランプ
8w

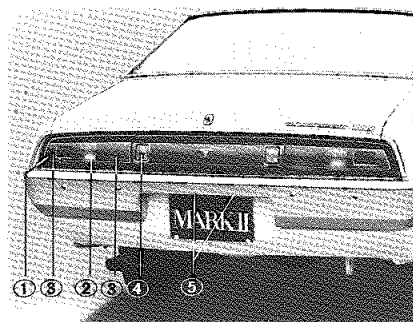
バルブ交換は、レンズ表面のネジをはずしてレンズをとり、バルブをいっぱい押しこんで左に回してははずします。

バルブをはめるときは、バルブをいっぱい押し込んで右に回してください。ダブル・フィラメント・バルブはロック・ピンの位置が左右ちがいますのでご注意ください。

●注意●

ソケットおよび接着部の錆・汚れをとってください。

リヤ側



- ①パーキング・ランプ
3.4w
- ②ターン・シグナル・ランプ
23w
- ③ストップ&テール・ランプ
23/8w
- ④バック・アップ・ランプ
23w

バルブの交換は、トランク・リッドを開いて、トランク内のランプ・カバーのネジを左に回してははずします。

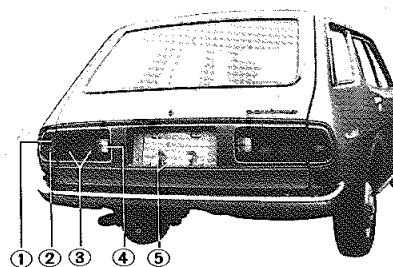
ランプ・ソケットは左へ回して取り出しバルブをいっぱい押し込んで左へ回してははずします。はめるときは切り欠きをあわせて右へ回します。パーキング・ランプは引っ張るとはずれます。

- ⑤ライセンス・プレート・ランプ
7.5w

ランプ・カバーのネジをはずして、カバーを取り、バルブをいっぱい押しこんで左に回してははずします。

ワゴン車

リヤ側



- ①ハザード&ターン・シグナル
23w
- ②パーキング・ランプ
3.4w
- ③ストップ&テール・ランプ
23/8w
- ④バック・アップ・ランプ
23w

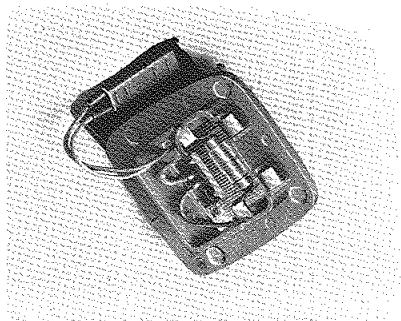
レンズ表面のネジをはずしてランプ・ソケットを左に回してははずします。

はめるときは、切り欠きをあわせて右へ回します。パーキング・ランプは引っ張るとはずれます。

- ⑤ライセンス・プレート・ランプ
7.5w

カバーのネジ2個所をはずしてレンズを取り、バルブをいっぱい押し込んで左に回してははずします。

ルーム・ランプ フロント



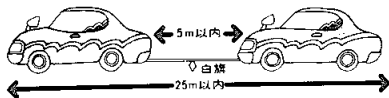
ルーム・ランプ
バルブの交換は、スイッチをOFFにして、ネジをはずし、ランプを引っぱり出してウラ側からバルブを取りはずします。
リヤ

ルーム・ランプ・ボデーを⊖ドライバー
ではずして電球を交換してください。

10W

けん引について

〈けん引のしかた〉



けん引車は急発進、急停車をしないようにし、けん引される車はけん引車のストップ・ランプに注意し、常にローブをた
るませないように気をつけましょう。

注意事項

- けん引中でもキーはLOCKの位置
まで回さないでください。
ハンドルが切れなくなり危険です。
- エンジンが停止していると、いつも
よりブレーキの効きが悪くなります。
できる限り、エンジンを始動してけん引してください。

オートマチック・トランスミッション車の場合

MX車

- Ⓝにして30km/h以下で行なってください。
- オートマチック・トランスミッション
内部に故障があり、動かすと不具合
があると思われるときは、後の車輪
をつり上げるか、プロペラ・シャフト
をはずしてからけん引してください。

RX車

後の車輪をつり上げるか、プロペラ・
シャフトをはずしてからけん引して
ください。

外装の手入れ

車を美しく保つには、日頃のお肌(塗装)
の手入れが必要です。

ボデーのほこりは柔らかい布か毛ばたき
でとりましょう。

塗装面が汚れたときは、なるべく早く洗
車をし、汚れのひどいときはカー・シャン
プーを使用しましょう。

塩分や凍結防止剤が付着したときは早く
洗車しましょう。ワックスがけはボデーに
ツヤのなくなる前に適時行ってください。

〈洗車方法〉

- 下まわりを洗います。
- 十分水をかけながらスポンジかセー
ム皮で汚れを洗い落とします。
- 汚れのひどいときは、ボデー温度が
下ってからカー・シャンプーを使用し
て洗います。
- 塗面に、はん点が残らないよう十分
水分をふきとります。

<ワックスがけ>

- 1 1カ月に1度または水のはじきが悪くなったときに行なってください。
- 2 ワックスがけはボデーの温度が体温以下のとき行なってください。
- 3 使用法はワックスの容器に記載されていますから、よく読んでお使いください。
- 4 ワックスは、トヨタ純正品で下記の名称のものをお使いください。

オートワックス・101

オートワックス・301

オートワックス・スピーディ・101

★注意

1. ワックスの中にコンパウンド（細かい砂）の入っていないものをご使用ください。
（コンパウンドの入っているワックスを使用すると塗装の表面に細かい傷が残ります。）
2. エンジン・ルーム内の電気系統に水をかけないように注意してください。
エンジン始動不良の原因となります。